



新シリーズ  
**ふい子に絵本を読み聞かせ隊**  
 Newカゲキワールド 驀進中!!  
 ポストゆとり世代に照準 志茂田景樹さん

## 価値観の衝突を突破口に



直木賞作家 志茂田景樹さん（73歳）が隊長を務める「ふい子に読み聞かせ隊」が、いよいよネクスツステージに突入した。目指すはズバリ、ポストゆとり世代の養育指導だ。

「来年度の高校生を最後に、いわゆる、ゆとり教育」が終わることになりますね。子供の学力が落ちたととか、自分勝手になったなど、とかく批判されたことの多い学習指導要綱でしたが、一定の成果をあげたことだけは、間違いないと思いますよ」（志茂田さん、以下同）

幼稚園や小学校の廊下に掲示された子供たちの図画を見ると、2006年頃のそれと、2000年頃のそれとでは、大胆さ、緻密さなどにおいて明らかに違いがあり、後者は総じて個人的だといえるのである。

「同じことが、大人の社会でもはつきりと出ていますね。今の20代半ばまでの人たちは、ゆとり教育を受けてきましたから、良くも悪くも大胆で個性的



ですが、ミドル世代以上の人たちは、優秀で勤勉な反面、深刻な閉塞感に覆われているように思います。会社や仕事関係の懇親会より、友達や同級生との飲み会を優先するなど、ゆとり世代は、それ以前の世代から見ると信じられないような決断や行動を、なんら躊躇することなく選択しますね。要するに大人、子供に関係なく、日本中のあちこちで今、価値観の衝突が起きているんですよ」

しかしそのことを志茂田さんは、けっして否定的に捉えていないわけではない。

「その衝突が突破口となって、新しい時代が開けるんですね。今はその過渡期ですよ。いわば幕末の頃と同じで、ゆとり世代が正義派というか尊皇攘夷派だとすると、ミドル以上が俗論派、佐幕派といったところでしょうか。しかしよく考えてみてください。維新後のあの文明開化をやったのは、そのどちら



でもなく実は次の世代、ポスト幕末世代の人たちなんです。彼らがアメリカやイギリス、フランスに留学し、学んだことによって新しい日本を建設しているんです。つまり我々世代がやるべきことは、まさにこれからの新しい日本を建設する優秀な人材をしっかりと育てること、このひと言に尽きると思うんですよ」

もうお分りだろう。志茂田さんがポストゆとり世代に照準を合わせ、ネクスツステージを切り開くなど、Newカゲキワールドを加速させた、これがその理由である。

【お知らせ】  
 次号からは、志茂田景樹さん作の人気の絵本を、ご本人の解説付きで誌上公開いたします。また、インターネット「ふい子に読み聞かせ隊」で検索番号w eb絵本でも公開していますので、併せてお楽しみください。なお、絵本の購入方法や読み聞かせ隊の公演予定等についても、同じサイトで確認することができます。